

境夢みなとタワー：平山郁夫氏の作品展

異国情緒あふれる日本画

鳥取・中海

tottori

鳥取総局

TEL0857(39)1188



丁寧に描かれた作品に見入る来場者

平山氏が中国やモンゴルなど、取材で巡った地を紹介するパネルもあり、来場者が巨匠への理解を深めながらじっくりと見入っている。

(園慎太郎)

戦後を代表する日本画家、平山郁夫氏(1930～2009年)の作品展が24日、境港市竹内団地の夢みなとタワーで始まり、シルクロードなどを題材に丹念に描いた巨匠の作品が来場者の目を惹きつけている。入場無料で27日まで。

全国各地で展示会の運営を手掛ける「ほるぷエアロドアイ」(大阪府)が主催。広島県出身の平山氏の初期から晩年までの作品40点と、他の画家の作品30点を並べ販売も行っている。

作品からは、シルクロードをテーマに画業を続けた、平山氏の情熱が伝わってくる。砂漠やラクダ、遺跡、寺院などを描き、異国情緒にあふれる。

制作の原点となった被爆の経験から、平和への祈りと思いを込め、ハトを描いた作品なども展示している。